



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
〈No. 2〉平成29年5月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

練習は試合のように、試合は練習のように

校長 今溝良司

先日はお忙しい中、授業参観をはじめPTA総会、部活動全体保護者会にご参加いただきありがとうございました。新年度の体制も固まり、いよいよ諸事業が具体的に進められていきます。是非ご協力のほどお願いいたします。学校の校庭には1年生の実に元気なかけ声が響いています。少しずつ中学校生活に馴染んできました。授業の約束や生活のきまりなど、知って・行って・身に付けるサイクルがスムーズに行えるようになってきました。楽しみにしていた部活動も、すでに本格的活動が行われています。

さて、あとひと月ほどすると平成29年度の学校総合体育大会・さいたま市予選会が市内各地で行われます。3年生にとってはことさら思い入れの深い大会です。いつだったでしょうか、部活動の練習の様子を見ていた時、「どうしてこの練習をやるの?」と生徒に声をかけました。私が見たその子の様子はしっかりしたものに見えなかったからです。すると、同じ部活の一人が「基本だからです。毎日やるのが大切なんです。」と答えてくれました。何とも満点の答えです。でも練習というものは難しいものですね。その難しさは、それを行う人の心の置きようにあるからです。基本は大切!だから毎日やる!でも、毎日やるから馴れと飽きが出る。飽きてしまうと、いい加減になってしまいます。いい加減なことを毎日やっていると、そのまま身につけてしまう。私が経験してきたことです。日々の練習を試合のような場面を想定しつつ、着実に行うことができれば、きっと力がつくことでしょう。自分が決めた目標や憧れている姿に近づくために日々努力を重ねることが、いつの日か「タイミングや動作などのコツを掴めた!」「わかった!できた!」を自分のものにしてからでしょう。そうです「掴む」のは一瞬ですが、「努力」は長くかかるものです。辛抱強く実践できるかがカギなのでしょう。しっかり身に付けた技や体力・精神力があれば、試合等の場面でも自信に溢れ、のびのびとプレーできることでしょう。試合が練習のようにできれば、きっといい結果がついてくるでしょう。学校生活も練習と同じということは、もちろん分かっていますね。

頑張れ!白幡中生!よいプレー・よいマナー・よい応援をお願いします。